

本シンポジウムでは、玉川学園高等部の「高校生サイエンスコミュニケーター※」が、  
体験・ポスターコーナーで、活躍してくれています。

※サイエンスコミュニケーターとは、科学技術に関して専門家と一般社会の間にとって相互理解のための架け橋的役割を担う人々です。

玉川学園は、平成20年度からSSH(スーパーサイエンスハイスクール)に指定されており、自分で課題を設定し実験を組み立てて研究できる、実験デザインが出来る生徒の育成を目指しています。

本日は玉川大学脳科学研究所と連携して研究を行っている高校生有志の皆さんが、体験・ポスターコーナーでの解説と、彼らが実際に行っている研究についてのポスター発表を行います。

### ○高校生サイエンスコミュニケーターが説明してくれる展示

展示1 ヒトの運動機能をロボットで支援する

～外骨格ロボットによる運動支援からリハビリまで～

展示4 社会性をつかさどる行動特性・神経基盤の解明

展示5 時間割引と社会行動～時間割引率(せっかち度)を測ってみよう!～

担当者: 太田朋花、高木結衣、高梨世子、田中莉沙子、谷本愛実、中島奏子、福田有紀、巨理彩香

### ○高校生による研究ポスター発表

①音を用いたラットの条件付け学習～学習した音を聴き分ける脳のしくみ～

発表者: 山田倫子、渡邊貴之

②チョコレートと学習～脳波への影響～

発表者: 堤 理紗、大倉由莉

③光の変化に気づく脳のしくみ

発表者: 富永賢人

21世紀の科学の創造の場で活躍するであろう、高校生達を、是非、応援してください。

